

介護保険制度改革で広がる 介護予防ビジネスの沃野

日 時 2005年2月24日(木) 午後1時～5時
会 場 虎ノ門パストラル 東京都港区虎ノ門4-1-1

・介護予防事業は、ビジネスになるか！ [13:00～14:15]

- 介護事業者は、予防重視型システムの転換で経営を乗り切れるか -

介護保険制度改革の一つ、「介護予防」。「予防重視型システムへの転換」の下、要支援・要介護1など軽度者急増の抑止策として「新予防給付」が創設され、新たな介護予防サービスが導入予定である。一方、認定者、サービス給付の動向には、歴然とした地域差がある。「介護予防」と表裏一体の関係にある「疾病予防」を踏まえ、介護事業者にとって「ブーメラン効果は期待できるのか!？」といった視点から述べる。

1. 認定者 / 急増の背景にも地域差あり
2. 介護サービス / 地域毎にみるサービス給付の違い
3. 介護保険制度改革 / サービスモデルの転換
4. 新予防給付の創設 / 予防重視型システムの確立
5. 地域包括支援センターの整備 / 地域包括システムの確立
6. 医療法42条施設 / 介護予防と疾病予防
7. 質疑応答

(有)ハヤカワプランニング 代表取締役 早川 浩士 氏

・痴呆予防研究と予防プログラムの推進 [14:20～15:35]

ボケの大多数90%以上を占め、原因もわからないし、治す方法も無いと言われているアルツハイマー型痴呆は「生活習慣病」である。高齢者と呼ばれる年代のお年寄りが、脳を積極的に使わない生活「生き甲斐なく、趣味なく、交友なく、運動もせず、目標もない毎日」を送っていると、出番を無くした前頭葉が老化を加速させ、廃用性萎縮を起し、ボケが始まるのである。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. ボケの種類 | 9. ボケの正体は、「頭の寝たきり」 |
| 2. ボケを見つけた物差し | 10. 老化を加速させる構造 |
| 3. 脳の機能分化 | 11. 脳を使わない生活に入る「きっかけ」 |
| 4. 脳の働きが衰えていく順序 | 12. ボケの治療は、脳のリハビリ |
| 5. ボケの三段階 | 13. 小ボケからの回復 |
| 6. 老年期痴呆の発生頻度 | 14. 中ボケからの回復 |
| 7. 前頭葉の老化曲線 | 15. ボケ防止のための五箇条 |
| 8. 前頭葉を支える生活 | 16. 質疑応答 |

(有)エイジングライフ研究所 代表取締役 高槻 忠男 氏

・介護予防ビジネスへ参入するフィットネスクラブのポテンシャル [15:45～17:00]

厚労省は、介護サービスが必要な高齢者およびその予備軍に、筋力トレーニング・口腔ケアなどのメニューの実施に介護保険給付費の3%を振り分けるという介護保険改革を示した。一方、バリアフリー・温浴などの施設づくりおよび筋力トレーニングの指導ノウハウは、フィットネスクラブにも十分に蓄積がある。したがって、介護予防ビジネスへの参入に十分なポテンシャルがあると考えており、これらの取組みについて紹介したい。

1. 当社のコンセプトについて
 - (1) 0歳から一生涯の健康づくりに貢献する
2. フィットネスクラブの現状について
 - (1) フィットネスクラブ店舗数
 - (2) フィットネスクラブへの参加率
3. フィットネスクラブの会員について
 - (1) フィットネスクラブの会員年齢構成について
 - (2) フィットネスクラブの入会目的
 - (3) フィットネスクラブにおける人気メニュー
4. 介護予防への取組み例
5. 新介護予防給付を意識した介護予防ビジネス
6. 当社における介護予防事業の位置付けおよび将来像
7. 質疑応答

セントラルスポーツ(株) 研究所長 国井 実 氏

PROFILE 早川 浩士(はやかわ ひろし)氏

中央大学経済学部卒業後、(株)矢野経済研究所を経て1991年に(有)ハヤカワプランニング代表。「経営(継承)と人財創造塾」主宰。市町村が策定する老人保健福祉計画、介護保険事業計画に参画。「介護保険料」「要介護認定者」「GH開設動向」など独自調査を行い「介護新聞」「高齢者住宅財団ニュース」など業界誌・紙にて発表。福島県介護福祉経営改善ネットワーク協議会顧問、(社)かながわ福祉サービス振興会医療福祉制度調査研究会研究員、「介護ビジョン」編集委員。

【主書】「介護事業の羅針盤」(環境新聞社) / 「介護保険データブック2001」(ぎょうせい) / 「データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望」(日本医療企画)他

【共著】「介護事業の起こし方・運営の仕方」(日本実業出版) / 「詳報 介護保険ビジネスガイド2001」(日経BP社) / 「介護ビジネス・パワーアップガイド」(日経BP社)他

【寄稿連載】「経営(継承)のツボ」(介護ビジョン) / 「介護ビジネス塾」(医療タイムス) / 「介護事業経営虎の巻」(月刊介護保険)

PROFILE 高槻 忠男(たかつき ただお)氏

(東京大学法学部卒)1994年より、(有)エイジングライフ研究所所長。老人性痴呆の予防及び早期発見と治療のための「二段階方式」を現在350を超える保健所及び自治体が導入するなど、地域予防活動を全国に普及させるための活動に活躍している。

PROFILE 国井 実(くにい みのる)氏

1981年 東海大学体育学部社会体育学科卒業

1983年 (東海大学体育学部運動生理学研究室研究生終了)セントラルスポーツ研究所研究員として入社

1989年 セントラルスポーツ研究所 副所長 兼 コーポレートフィットネス事業部 課長

2000年 セントラルスポーツ研究所 所長(健康のための運動についての研究、フィットネス関連商品の研究・開発、身体組成および代謝に関する研究、各種スポーツ競技力向上のための研究)

<参加学会>日本体力医学会、日本肥満学会、日本運動生理学会

SSKセミナー最新情報 <http://www.ssk21.co.jp/>

弊社Webサイトにて最新のセミナー情報、その他関連情報等掲載しております。

E-mail アドレス登録受付中(無料・図書券(500円)進呈)

ご希望ジャンルのセミナー情報をタイムリーに配信サービス致します。

今回お申込みされない方であっても、あなたのE-mail アドレスをご記入し、お送りいただければ次回以降E-mailでご案内致します。(「E-mail登録のみ」の旨ご記載下さい。)

登録変更・配信停止

今回のご案内の宛先(所属・氏名等)で不具合がございましたら、正しいご案内先をご一報いただければ幸いです。尚、今後のご案内が不要の場合は、その旨ご連絡いただければ幸いです。

受講料 1名につき 29,800円(消費税込)

お申込方法 下欄にご記入の上、FAXでお申し込み下さい。

折り返し、受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り

致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。

お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。

その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。

お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

お申込みフォーム			
2月24日(木)		「介護予防ビジネスの沃野」	
		申込日	月 日
貴社名			
所在地	〒		
TEL	() -	FAX	() -
E-mail			
受講者名	所属部署・役職		

「受講証」等の送付先が上記と異なる場合はご記入下さい。

通信欄	
-----	--

主催(お申込み・お問い合わせ先) **株式会社 新社会システム総合研究所**

〒105-0003 港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル11階

Tel:03-5532-8850 / Fax:03-5532-8851

E-mail: info@ssk21.co.jp URL: <http://www.ssk21.co.jp/>

05057-25